

PDCAチェックシート

実施年度	平成30年度		担当課名	福祉課						
事務事業名	敬老事業									
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善							
<p>■目的</p> <p>老人福祉法に定める敬老の趣旨を十分に踏まえ、それぞれの地域の特色を生かしながら、多年にわたり社会の進出に貢献した高齢者に対し感謝の意を表すとともに、敬老事業を地域で実施することにより、コミュニティ力の向上を図る。</p> <p>また、高齢者施設や世帯を訪問するとともに、長寿祝金を支給する。</p>	<p>■具体的取組</p> <p>○市内を10地区に区分し、地区単位又は各地区内の自治会単位で敬老会を開催</p> <p>○80歳、88歳、99歳以上の高齢者に対して長寿祝金を支給</p> <p>【支給額】</p> <table> <tr> <td>満80歳</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>満88歳</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>満99歳以上</td> <td>20,000円</td> </tr> </table> <p>■インプット(投入金額等)</p> <p>○敬老事業 8,924千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 3,355千円 ・需用費 20千円 ・助成金 5,549千円 <p>○長寿祝金事業 5,309千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 21千円 ・需用費 13千円 ・扶助費(給付費) 5,275千円 <p>■アウトプット(数量等)</p> <p>○敬老会開催地区 48箇所</p> <p>○長寿祝金の給付 683人</p>	満80歳	5,000円	満88歳	10,000円	満99歳以上	20,000円	<p>■成果指標の具体的検証結果</p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>25年度に敬老会の開催(主催)を市から自治会等に移行し、参加者は毎年増加していたが30年度は減少した。</p> <p>協力スタッフ等、地域からの参加により、地域コミュニティ力の向上に繋がっている。</p>	<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <p>25年度から27年度(3年間)の実施結果を受けて、今後の敬老事業の開催方法について平成27年12月22日に敬老会事業検討会を実施した。検討会での意見交換の結果、参加率も徐々に増加し、地域内の交流や親睦が深まり、地域の高齢者の把握もできたなど、地域コミュニティ力の向上に繋がる建設的な意見が多かったことから、今後3年間(28年度～30年度)も引き続き現行の実行委員会方式又は自治会個別実施方式で実施することとなった。</p> <p>平成30年度に次年度以降3年間の敬老事業の実施について自治会連絡協議会、老人クラブ、福祉委員、婦人会、民生委員・児童委員協議会連合会等の役員をメンバーとする検討会を開催した。現状の課題としては、敬老事業対象者のうち敬老事業参加者だけに助成があること、参加率が30%を超えないこと、敬老事業実施時のスタッフへの負担が大きいことなどが挙げられた。このことを踏まえ今後の敬老事業について検討をしたが、具体的な方法がまとまらなかったため、令和元年度は現状の方法で実施し、次年度以降について再度検討会を開催することとなった。</p>	
満80歳	5,000円									
満88歳	10,000円									
満99歳以上	20,000円									
<p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】</p> <p>○敬老会への高齢者参加率 30%以上</p> <p>(根拠) H29 参加率 28.14%</p> <p>参加者数 1,864人</p> <p>スタッフ数 992人</p> <p>H28 参加率 27.95%</p> <p>参加者数 1,813人</p> <p>スタッフ数 1,048人</p> <p>【達成値(H30実績値)】</p> <p>○敬老会への高齢者参加率 26.94%</p> <p>(高齢者参加者数 1,819人)</p> <p>(スタッフ数 1,038人)</p> <p>(開催箇所 実行委員会7箇所)</p> <p>自治会 41箇所)</p>										

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。